



## 平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

コード番号 3063 URL <http://www.jgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成28年10月13日

配当支払開始予定日

平成28年11月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年2月期第2四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	6,941	△0.4	△11	—	△37	—	△86	—
28年2月期第2四半期	6,967	4.0	△61	—	△38	—	△168	—

(注) 包括利益 29年2月期第2四半期 △64百万円 (—%) 28年2月期第2四半期 △172百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	△10.76	—
28年2月期第2四半期	△21.07	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第2四半期	8,325	1,697	20.3	211.82
28年2月期	8,169	1,771	21.6	220.71

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 1,693百万円 28年2月期 1,764百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	1.50	—	1.50	3.00
29年2月期	—	1.50	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	8.5	150	108.1	120	65.8	44	—	5.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年2月期2Q	8,196,400 株	28年2月期	8,196,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年2月期2Q	200,035 株	28年2月期	200,035 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年2月期2Q	7,996,365 株	28年2月期2Q	7,996,365 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等が様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や実質賃金の上昇などによって緩やかな景気回復の動きが見られたものの、海外経済の景気減速懸念による株安、円高に伴う輸出企業の業績不振、将来不安による節約志向などの影響から、消費マインドの先行きは依然不透明なまま推移しております。

外食業界におきましては、個人消費の伸び悩みや原材料価格の高騰に加え、人材不足による採用費や人件費の上昇など、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当社グループでは、平成28年3月にグループ組織再編を行ない、飲食事業では、業態等に応じた複数の子会社を中核子会社の株式会社ジェイプロジェクトに集約し、店舗運営ノウハウの共有と機動力の向上、そして運営体制の強化を図るとともに、不動産事業及びその他の事業を営む機能子会社についても集約をすることにより、業務の効率化を進めました。これらにより、平成28年8月末日現在の業態数及び店舗数は、67業態140店舗(国内138店舗、海外2店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結結果計期間の売上高は6,941百万円(前年同期比0.4%減)と減収でありましたが、原材料価格の高騰及び人件費の増加を主因の中、運営体制の強化により営業損失は11百万円(前年同期は営業損失61百万円)、経常損失は37百万円(前年同期は経常損失38百万円)となり、店舗閉鎖損失等の特別損失を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は86百万円(前年同期は四半期純損失168百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 飲食事業

原材料価格の高騰傾向が顕著となっておりますので、メニュー内容の見直しに取り組みました。また、リニューアルオープンや不採算店舗の閉店など、既存店の改善に注力いたしました。

主な新規出店といたしましては、平成28年3月に「PIT TAVERN栄店」(名古屋市中区)、「芋蔵四日市店」及び「tantan四日市店」(三重県四日市市)、「ほっこりバンコク」(タイ、バンコク)、4月に「猷」(名古屋市中区)、「四七四七につぼん名駅店」(名古屋市中村区)、「芋蔵姫路店」(兵庫県姫路市)、5月に「四七四七につぼん刈谷店」(愛知県刈谷市)、「串星」及び「吟醸マグロ」(名古屋市中区)を新規オープンし、「PIT TAVERN名駅店」及び「パクオリ」(名古屋市中村区)をリニューアルオープンいたしました。

また、「芋蔵錦糸町店」(東京都墨田区)及び「DRY STADIUM」(名古屋市中区)を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は6,250百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は245百万円(同4.4%増)となりました。

#### ② 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS刈谷」などの賃貸収入に加え、前連結会計年度に開設したテナントビル「ジェイグロス大曽根」が収益に寄与し、また、平成28年5月に名古屋市中区にテナントビル「j G金山」を新たに開設いたしました。

その結果、不動産事業における売上高は943百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は100百万円(同24.4%増)となりました。

#### ③ ブライダル事業

「LUCENT Mariage Tower(ルーセントマリアージュタワー)」について、強みである高層階からの景観が名古屋駅周辺の開発工事により悪化し、成約率が低下いたしました。

その結果、ブライダル事業における売上高は368百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益は2百万円(同185.5%増)となりました。

#### ④ その他の事業

販促制作事業及び卸売業等のその他の事業における売上高は465百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は22百万円(同0.3%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,325百万円(前連結会計年度末比156百万円増加)となり、負債は6,628百万円(同230百万円増加)、純資産は1,697百万円(同74百万円減少)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ85百万円増加し1,137百万円となりました。これは、売掛金が50百万円、未収入金が26百万円、それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ71百万円増加し7,187百万円となりました。これは、不動産取得、減価償却及び店舗閉鎖等により、有形固定資産が85百万円増加したことなどが主な要因であります。

繰延資産につきましては、株式交付費の減少を主因に、1百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ107百万円増加し2,678百万円となりました。これは、未払金が14百万円、短期借入金11百万円、一年以内返済予定長期借入金73百万円、それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ123百万円増加し3,950百万円となりました。これは、長期末払金が50百万円、長期前受収益が86百万円増加し、社債が23百万円減少したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ74百万円減少し1,697百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上により、利益剰余金が98百万円減少したことなどが主な要因であります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが359百万円の資金増(前年同期は85百万円の資金減)、投資活動によるキャッシュ・フローが419百万円(同2.2%増)の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが59百万円(同79.3%減)の資金増となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は286百万円となり、前連結会計年度末の539百万円に比べ252百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は359百万円(前年同期は85百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失を100百万円、非資金項目である減価償却費を379百万円、店舗閉鎖損失47百万円、それぞれ計上したことなどによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は419百万円(前年同期比2.2%増)となりました。これは主に、新規出店やリニューアル等に伴う有形固定資産の取得による支出が422百万円、差入保証金の回収による収入が26百万円、差入保証金の差入による支出が16百万円あったことなどによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は59百万円(前年同期比79.3%減)となりました。これは主に、長期借入れによる収入が1,013百万円あり、長期借入金の返済による支出が897百万円あったことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上期において、前期より取組んできた客単価の向上による粗利益向上のための施策による成果が出ており、下期も継続して収益改善を見込んでおります。

平成29年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成28年4月8日に公表いたしました業績予想から現時点におきましては、変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は従来の方法に比べて、それぞれ5,377千円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	289,872	286,771
売掛金	335,802	386,758
商品及び製品	292	343
原材料及び貯蔵品	96,457	108,065
その他	347,346	373,709
貸倒引当金	△18,343	△18,343
流動資産合計	1,051,425	1,137,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,084,190	3,286,044
土地	1,774,733	1,775,243
その他(純額)	705,309	588,298
有形固定資産合計	5,564,233	5,649,586
無形固定資産	40,091	32,916
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220	8,220
差入保証金	1,285,569	1,258,877
その他	220,360	240,123
貸倒引当金	△2,675	△2,675
投資その他の資産合計	1,511,474	1,504,545
固定資産合計	7,115,800	7,187,048
繰延資産		
株式交付費	570	—
社債発行費	2,011	1,622
繰延資産合計	2,581	1,622
資産合計	8,169,807	8,325,975

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	412,008	383,770
短期借入金	17,400	29,000
1年内返済予定の長期借入金	967,442	1,041,328
1年内償還予定の社債	46,000	46,000
未払金	706,024	720,370
未払法人税等	50,882	18,243
賞与引当金	5,000	9,969
その他	366,525	429,652
流動負債合計	2,571,282	2,678,335
固定負債		
社債	92,000	69,000
長期借入金	3,361,668	3,366,507
資産除去債務	71,347	73,308
その他	301,949	441,605
固定負債合計	3,826,965	3,950,420
負債合計	6,398,247	6,628,755
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,068,969	1,068,969
資本剰余金	998,969	998,969
利益剰余金	△179,274	△277,325
自己株式	△76,021	△76,021
株主資本合計	1,812,641	1,714,590
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△47,787	△20,808
その他の包括利益累計額合計	△47,787	△20,808
新株予約権	3,438	3,438
非支配株主持分	3,268	—
純資産合計	1,771,560	1,697,219
負債純資産合計	8,169,807	8,325,975

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	6,967,772	6,941,478
売上原価	2,164,794	2,159,704
売上総利益	4,802,978	4,781,773
販売費及び一般管理費	4,864,884	4,793,004
営業損失(△)	△61,906	△11,231
営業外収益		
受取利息	341	216
協賛金収入	59,030	45,841
設備賃貸料	5,439	4,989
為替差益	1,143	—
その他	14,860	5,918
営業外収益合計	80,815	56,965
営業外費用		
支払利息	36,737	35,326
為替差損	—	31,741
賃貸費用	11,799	11,440
その他	8,597	5,082
営業外費用合計	57,135	83,590
経常損失(△)	△38,225	△37,855
特別利益		
固定資産売却益	—	4,187
特別利益合計	—	4,187
特別損失		
固定資産売却損	1,750	—
固定資産除却損	356	—
減損損失	12,560	20,033
店舗閉鎖損失	66,312	47,169
特別損失合計	80,979	67,202
税金等調整前四半期純損失(△)	△119,204	△100,871
法人税等	49,289	△9,095
四半期純損失(△)	△168,494	△91,776
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△5,719
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△168,494	△86,056

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)
四半期純損失(△)	△168,494	△91,776
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,060	26,978
その他の包括利益合計	△4,060	26,978
四半期包括利益	△172,555	△64,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△172,555	△59,329
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△5,467

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△119,204	△100,871
減価償却費	389,485	379,798
のれん償却額	4,438	4,384
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,811	4,969
受取利息及び受取配当金	△342	△217
支払利息	36,737	35,326
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△4,187
減損損失	12,560	20,033
店舗閉鎖損失	66,312	47,169
売上債権の増減額(△は増加)	△31,841	△50,982
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,258	△11,802
仕入債務の増減額(△は減少)	△191,443	△28,194
その他	△173,852	149,311
小計	3,402	444,737
利息及び配当金の受取額	330	216
利息の支払額	△41,118	△34,676
法人税等の支払額	△47,677	△50,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	△85,062	359,355
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△423,569	△422,566
有形固定資産の売却による収入	2,530	4,522
無形固定資産の取得による支出	△1,563	△425
差入保証金の差入による支出	△33,872	△16,653
差入保証金の回収による収入	46,007	26,083
貸付けによる支出	△2,060	△1,940
その他	1,796	△8,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	△410,731	△419,687
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	117,000	11,600
長期借入れによる収入	805,000	1,013,636
長期借入金の返済による支出	△567,077	△897,146
リース債務の返済による支出	△34,689	△36,170
社債の償還による支出	△23,000	△23,000
非支配株主からの払込みによる収入	—	2,218
配当金の支払額	△11,994	△11,994
財務活動によるキャッシュ・フロー	285,239	59,143
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△1,911
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△210,569	△3,100
現金及び現金同等物の期首残高	749,852	289,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	539,282	286,771

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	6,243,963	121,797	395,283	6,761,044	206,728	6,967,772	—	6,967,772
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	43,470	789,085	65	832,622	259,225	1,091,848	△1,091,848	—
計	6,287,433	910,883	395,349	7,593,666	465,954	8,059,620	△1,091,848	6,967,772
セグメント利益 又は損失(△)	235,385	80,442	776	316,604	22,816	339,421	△401,327	△61,906

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△401,327千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食」セグメントにおいて、サンクスマインドの店舗閉鎖に係る構築物及び工具器具備品等について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、12,560千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	6,208,594	121,080	368,427	6,698,103	243,374	6,941,478	—	6,941,478
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	41,989	822,701	—	864,690	221,692	1,086,383	△1,086,383	—
計	6,250,584	943,782	368,427	7,562,794	465,067	8,027,861	△1,086,383	6,941,478
セグメント利益 又は損失(△)	245,850	100,050	2,215	348,117	22,755	370,872	△382,104	△11,231

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△382,104千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食」セグメントにおいて、ジェイプロジェクトの不採算店舗に係る構築物及び工具器具備品等について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、20,033千円であります。